<table>
<thead>
<tr>
<th>項目</th>
<th>内容</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>Title</td>
<td>支那に於ける我が航権の確立 『日清汽船株式会社三十年史及追補』を読む</td>
</tr>
<tr>
<td>Author(s)</td>
<td>大平 善梧</td>
</tr>
<tr>
<td>Citation</td>
<td>一橋論叢 8(3): 316-321</td>
</tr>
<tr>
<td>Issue Date</td>
<td>1941-09-01</td>
</tr>
<tr>
<td>Type</td>
<td>Departmental Bulletin Paper</td>
</tr>
<tr>
<td>Text Version</td>
<td>publisher</td>
</tr>
<tr>
<td>URL</td>
<td><a href="http://doi.org/10.15057/4983">http://doi.org/10.15057/4983</a></td>
</tr>
<tr>
<td>右欄</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
支那に於ける我が航権の確立

『日清汽船株式会社三十年史』

追補

資 料

大陸は常に政治的な意識を異にする。支那に於いては、共通の事例に至り、共通の目的を実現するに至っている。現状に於ては、支那事例に於いて、資格相続と変化の意識が一層重要となる。資格相続は、資格相続の基礎を形成するものであり、資格相続の変化は、資格相続の変化をも伴うものである。

資格相続は、資格相続の基礎を形成するものであり、資格相続の変化は、資格相続の変化をも伴うものである。資格相続は、資格相続の基礎を形成するものであり、資格相続の変化は、資格相続の変化をも伴うものである。

資格相続は、資格相続の基礎を形成するものであり、資格相続の変化は、資格相続の変化をも伴うものである。資格相続は、資格相続の基礎を形成するものであり、資格相続の変化は、資格相続の変化をも伴うものである。

資格相続は、資格相続の基礎を形成するものであり、資格相続の変化は、資格相続の変化をも伴うものである。資格相続は、資格相続の基礎を形成するものであり、資格相続の変化は、資格相続の変化をも伴うものである。
一橋論演
第八巻
第三号

一、支那の航路開拓

支那の航路開拓は、江戸時代末期から始まりました。その目的は、貿易拡大と輸入の増加でした。特に、支那の南部地域での航海が活発になり、牛車を利用して貨物を運搬する方法が確立されました。しかしこれは、航路の開拓とともに、支那航路の経済的発展を促進しました。

二、支那の航路経済

支那の航路経済は、江戸時代の末期に始まり、17世紀に達頂しました。特に、上海、南京、廈門、福州などの大港で活発になり、多くの貿易品がここから送出されました。その結果、これらの大港では、豪華な商館が立ち並びました。

三、支那航路の貿易

支那航路の貿易は、17世紀に始まり、18世紀に達頂しました。特に、中国の茶、糖、錫、松明、鷄足などの輸出が活発になりました。また、日本の米、布、銅器、鉄器等の輸入も活発に行われました。

四、支那航路の経済影響

支那航路の経済影響は、江戸時代の末期から始まり、18世紀に達頂しました。特に、日本側では、経済の発展とともに、文化の伝播も促進されました。また、中国側では、経済の発展とともに、文化の伝播も促進されました。
私等の駅建業に在して、私が駅建を確立することは容易
た。揚子江は當時日本汽船の独占地であったと見做して良
く、日本汽船は日本汽船に於て、各種設備の充実を強調
して、旅客の財にける為に、各種設備の改良を盛り上げる
もので、各種設備の充実を強調して、旅客の財にける為に、
各種設備の改良を盛り上げるもので、各種設備の充実を強
調して、旅客の財にける為に、各種設備の改良を盛り上
gるものです。揚子江は當時日本汽船の独占地であったと
見做して良く、日本汽船は日本汽船に於て、各種設備の
充実を強調して、旅客の財にける為に、各種設備の改良を
盛り上げるもので、各種設備の充実を強調して、旅客の財
にくるものです。揚子江は當時日本汽船の独占地であったと
見做して良く、日本汽船は日本汽船に於て、各種設備の
充実を強調して、旅客の財にける為に、各種設備の改良を
盛り上げるもので、各種設備の充実を強調して、旅客の財
にくるものです。揚子江は當時日本汽船の独占地であったと
見做して良く、日本汽船は日本汽船に於て、各種設備の
充実を強調して、旅客の財にける為に、各種設備の改良を
盛り上げるもので、各種設備の充実を強調して、旅客の財
にくるものです。揚子江は當時日本汽船の独占地であったと
見做して良く、日本汽船は日本汽船に於て、各種設備の
充実を強調して、旅客の財にける為に、各種設備の改良を
盛り上げるものです。
で、日支貿易に及ぼした影響は甚大なものがあり、揚子江各
航路と支那商号は久しく皆無の状態に陥り、相当の打撃と
直面した。その結果、認識運動は政治運動と相対し且流業の運動
者を生じたこと、及び五月九日が国記念日となったこと等、
後の日数に遅したものである。又昭和六年満洲問題に基づく
事実を無視して、過去数次に亘る経験により、
戦術は緩くなり、組織厳然として、官主見を示たさまで、今回
その変更の微候を
遠因とも成るのである。幸にして今次支那事變の結果、新国民
政府の日支提携主義に基づき、排日精神は一掃さるを以て到
った。我が独権は、敵に一大害を招き得たのであって、今
後は発展は期待して待ち得る所である。
今や東海海運株式会社の設立史を記述して歴史的なものとなった。
本書はこの進補に依って役立てて歴史的なものであり、
長い歴史を経てはならない。大統の革命を考えて、
自民の言葉を御録せよ。日清汽船株式会社取締役会長周田永
氏に通じた。著者は本三十年の序文、日本汽船株式会社取締役会長周田永
氏の言葉を掲げた。
本書編集の目的は、周民の新道路を説くもので、
不動有否の競争を一縮し、我之海運力の利価を計る為なく、昭和
十四年八月初夏海運株式会社が新設され、日清汽船会社は創
業以来三十二年余に及ぶる其の事業を全部に因って適正するに
到った。本書が二十年史たるばかりでなく其の進補と構するは
この東海海運株式会社の設立史を記述して歴史的なものとなる。